1.医療機関との連携により実施する 組織的ピアサポート活動

NPO 法人ミーネット 理事長 花井 美紀



講義の狙い

■医療機関との連携協力の必要性と、組織としてのピアサポート活動の仕組みを理解する。

はじめに

がんのピアサポート活動には、多種多様な形があります。

たとえば、個人で行うもの、同志がグループや会をつくって活動するもの、病院等が主体となって院内で開催する「がんサロン」などにピアサポーターとして参加する---などがあります。ピアサポートは、基本的にはがん体験同士の相互支援ですから、どのような形式であっても、がんの悩みを抱えた患者・家族の一助になることは間違いがないと思います。その安全性や質の向上をはかり、利用の広がりをめざすには、地域との連携作りを進めることが望まれます。

院内ピアサポートの意義

NPO 法人ミーネットの場合は県・市など行政や医療機関との連携協力のもとに実施しています。ピアサポートの普及推進においては、地域がん対策の中でどのように反映され施策に結び付くかということが、ピアサポートの継続性の意味からも大切なことだと思います。

また、がん診療連携拠点病院などには、入院患者さんはもとより日々多くの患者・家族が受診のために訪れます。つまり、確実にニーズがあり利用者があるわけで、病院はピアサポート活動における最適なフィールドの一つと言えるでしょう。

院内全体へのピアサポート活動の周知は非常に大切です。医師・看護師・薬剤師など医療チームの各専門職にピアサポートの有用性が理解され、院内活動が周知されることで、各専門職から患者さんへのピアサポート紹介が進みます。また、ピアサポーターからも、相談者の相談内容により最適な専門職につなぐこともできるからです。どちらも、相談者の問題解決や解決のための手掛かりを得ることが期待できます。

医療機関との連携協力で進めるピアサポートの流れ

活動する医療機関および院内の相談支援部門と、緊密な連携協力体制が敷かれている一宮市立市民病院 での院内ピアサポートの形をご紹介しましょう。

事前

- ①決定したシフ<mark>ト表を送付</mark> (メンバーのがん種や得意 ジャンルを明記)
- ②相談支援室が、院内の部署 や患者さんにアナウンスし、 予約を取る
- ③予約が入ったらミーネット 事務局に連絡
- ④ミーネット事務局は、担当 ピアサポーターに連絡
- ⑤ピアサポーターは予約相談 者の状況に応じて自身で準 備をする

当日

- ①9:30 に会場へ集合
- ②相談支援室と一緒に打合 せ。相談者のがん種や状況 を聞き、院内リーダーが担 当を割振りする
- ③相談支援室のサポートが 必要な場合はお願いする。
- ④その他、連絡事項
- ⑤院内リーダー、支援室のサポートのもとに相談対応

事 後

①終了ミーティング

- ・本日の相談内容をリーダーおよび支援室に報告。
- ・相談内容シートに、1 件につき 3~4 行の簡単な内容記録を書く。
- ・事務局に提出。
- ・事務局はパソコン入力し、 データベースに登録した のち病院に送付。

事後処理

- ・後日、ピアサポーターから相 談記録が送られてくるので、 チェックして保存。
- ・提出されたことをデータベースに登録し、個人ホルダに保存。
- ・期限は提出されないものは請求。
- ・相談記録を確認し、問題が見られる場合は理事長に報告。
 - →理事長はスーパーバイザーの意見を聞き、対処する。



院内ピアサポート運営管理業務の流れ

医療機関との連携協力のもとに実施するピアサポートは、ボランティアとはいえ組織と組織の約束事で成り立つものです。各医療機関の「ボランティアのきまり」や「ミーネットの院内活動のきまり」などを遵守してピアサポートを行うことが、相談者およびピアサポーターの安全で健全なピアサポートの大前提です。また、ピアサポートが円滑に行われ、継続性が担保されるためには、運営管理事務が何より大切です。この必要性と仕組みを、ピアサポーターにも医療機関にも理解していただきたいと思います。

